

令和5年度 本校の主な取組

○「主体的に自分の思いを表現する子の育成」授業づくりの研究・推進 ～学校は「学びの場」である～

道徳科の授業を中心に自分ごととして捉えるための課題把握について実践を重ね、児童一人ひとりが問題意識をもつための授業展開を行いました。授業を通して学んだ価値を今後は様々な教科授業に反映させて互いに認め合い、すすんで学ぶ子の育成に努めていきます。

4年生以上を中心に教科分担制を取り入れ、多くの教職員で児童に関わり学年の教材研究に努めてきました。今後も学力の向上に向けて基礎・基本を大切にしながら指導を続けていきます。日々の授業においては、学習の見通しを持たせるための教室掲示や、ペアや小グループでの話し合い、タブレットを活用した意見交流等学習環境や形態を工夫して取り組みました。タブレット端末については、効果的な活用の仕方について研究を進めていきます。



○集団生活を通して互いのよさや違いを認め合える豊かな人権感覚の育成 ～学校は集団生活の場である～

日頃から「誰もが、安心して、豊かに」学校生活を送ることができるよう意識しました。人権週間ではクラスごとにめあてをたて、自分の行動を振り返ることにつながりました。年間を通して、たてわり活動を行い異学年の交流を進めることができました。スタンプラリーなどで活躍する6年生の姿に憧れる児童の姿がありました。音楽朝会では異学年で見合い、感想を堂々と発表する児童が増え、かかわり合いのよさを実感できました。

子どもたちが中心となってあいさつ運動に取り組みました。ポスター作りや朝のあいさつ運動も継続できました。

今後も自分からあいさつができる子どもたちを育てていきたいと考えます。



○家庭、地域と連携して信頼される学校づくりの推進 ～学校は「地域社会の一員」である～

今日の社会情勢を鑑みても学校、家庭、地域の関係が希薄であれば、未来を担う子どもたちの健全な健全育成は望めない時代になってきています。新型コロナウイルス感染症が5類に変更になり、以前より積極的に出前授業や現地見学などに出かけ、学びの深まりを目指しました。戸塚警察と連携し、警察車両に乗り広報活動をするなど防犯対策に向けた活動を通して私たちが住む町についての理解につながったことは大きな成果だととらえています。登下校の安全確保のための保護者の皆様による定期的な登校時の見守り、下校時の指導は引き続き計画的に実施します。

今年度は、PTAの皆様によるカーテン洗濯などの環境整備や運動会などの行事へのご協力など多大な尽力に感謝しております。今後も本校としてできることを精選し様々な場面での連携を大切に努めていきます。

☆「上矢部小学校のやくそく」、上矢部すまいるうむ、いじめ防止

「上矢部小のやくそく」を基にして、廊下の歩行や給食などきまりを守る意識が高まっています。個に応じた指導の充実を図るため、算数、国語を中心に特別支援教室（取り出しによる少人数指導）を実施、して子どもたちが自信をもって学習できるよう支援しています。今後は学習スペースの確保がより必要になっています。また、よりよい人間関係を築くためにアンケート形式によるアセスメントを実施し、傾向からよりよい学級づくりを目指してきました。児童支援専任教諭を中心にいじめの未然防止、早期発見に努めてきました。防止月間に合わせてアンケートを実施し、チームで対応する体制づくりの強化に今後も努めていきます。

令和5年度 横浜市立上矢部小学校 学校説明・報告会



令和6年 2月16日（金）

学校教育目標

大地に根をはり 共に伸びよう 天までとどけ

～わたしもぼくも みんないい 一人ひとりのよさや可能性を引き出す教育を推進します～

- | | |
|--------------------------------------|------------|
| (知) 問題解決に向けて、主体的に取り組む子 | 【すすんで学ぶ子】 |
| (徳) よりよい自分を目指し、自分や他者を大切にする子 | 【みとめあう子】 |
| (体) 心と体の健康に関心を持ち、自ら進んで体力・健康づくりに取り組む子 | 【たくましい子】 |
| (公) 集団や社会の一員としての自覚を持ち、人のために行動する子 | 【あいさつする子】 |
| (関) 新しいことに進んでかかわり、夢や希望をもってチャレンジする子 | 【チャレンジ上矢部】 |

かんがえよう ともに みがこう 心も体も やる気も やさしさも あふれ出る
ベストをつくる自分をつくらう

- 1 本校の主な取り組みについて
- 2 学校評価アンケートについて
- 3 令和6年度 年間行事予定について
別紙プリント（現段階のものであり、変更になる場合があります）

*学校説明会資料及びスライド版は後日学校HPでも公開しています。

令和5年度 保護者アンケート集計結果より

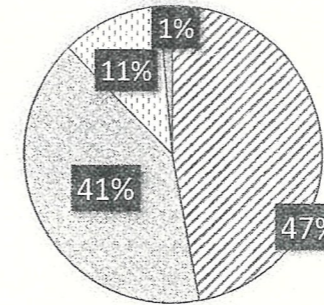
学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。評価していただいた内容や評価結果に基づき、今後の方向性をまとめましたのでご覧ください。いただいたご意見を参考に学校教育目標の実現に向け、よりよい学校づくりに取り組んでいく所存です。

- 項目①「タブレットなどのICT機器の活用、教科分担制の導入など指導のあり方を工夫し～」については、87%が「そう思う」「どちらかというと思う」という回答でした。全学年でのロイロノートの活用、中学年以上での教科担任制の導入等を行っています。今後もICT機器の活用や多くの教員での児童とかかわり指導する体制づくり、基礎基本の定着にも力を入れ、わかる授業、楽しい授業づくりに取り組んでまいります。
- 項目②④「異学年交流、地域、小中交流など～」については、肯定的な回答が95%以上というとても励みになる回答でした。今年度から道徳の授業研究を始め、全教職員が今まで以上に道徳の授業に力を入れ、次年度も継続していく予定です。また、たてわり活動では朝の時間をつかった活動、たてわりスタンプラリーなどで異学年との交流を進んで行いました。阿久和川の美化活動では永年の功績が認められ表彰を受けるなど、まちとのつながりを今後も大事にしていきます。
- 項目③「あいさつ」については、約26%が「あまりそう思わない」とする全項目で一番低い数値になっています。このことから、あいさつについては多くの保護者、教職員ともに「もっとできるのでは」と課題に感じているということがわかります。学校では、毎朝の校門でのあいさつ指導や日々の学年や学級指導等で、指導を重ねてきました。「おはよう」「いただきます」「さようなら」「ただいま」等を基本に、ご家庭でもあいさつする機会を大切に旗当番の方にも進んであいさつする習慣が身につくようご協力ください。
- 項目⑤については、健康面における保護者の皆様の意識の高さをとても感じております。感染症等の予防に向けて保健委員会を中心に行う手洗いなどの取り組みや、体力の向上に向けた長縄集会やスタスタタイム（持久走）等にも取り組んでいきます。
- 項目⑥「学校で決められたルール・・・」については、「上矢部みんなのやくそく」を基に、子どもたちが学校での約束を守るように児童支援選任を中心に定期的に朝会で発信したり、各学級で指導や確認をしたりしています。今後も規範意識を高めていくよう指導を続けていきます。
- 項目⑦「避難訓練や安全指導、登下校の交通安全～」については、肯定的な回答が95%以上と登下校の交通安全、防犯意識の高まりを感じる結果となりました。避難訓練では、校長や副校長、防災担当者を中心に避難訓練の大切さの発信や避難時の約束事などを確認しています。児童は約束を守り、短時間で安全に避難を完了し、全校児童集合時には静かに話を聞くことのできる体制ができるなど、防災意識が高まっています。万一の時に備える指導を今後も継続していきます。また、児童の安全な登下校に向けて、地域の方々や校外委員の方々のご協力をいただきながら指導にあたっています。
- 項目⑧「情報の発信～」については、肯定的な回答が95%でした。毎月の学校だより、学校ホームページを中心に学校の様子を発信させていただいております。翌月の行事、下校時刻については、12月より月末ではなく今までより早い日時に発信させていただき、保護者の皆様にも翌月の見通しをもっといただけるようにしました。また、緊急な連絡事項等はマチコミメールを活用して発信させていただいてきました。今後も適切な方法で分かりやすく、必要度・緊急度に合わせて情報を発信していきます。また、来年度は「まちコミ」に変わる新システム「すぐる」が横浜市立の全小中学校を中心に導入され活用していく予定です。

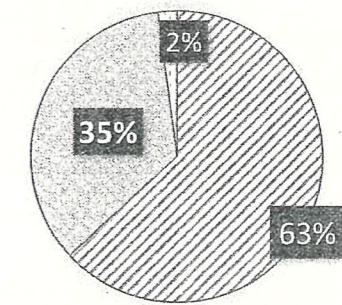
令和5年度 保護者用学校アンケート 集計

とてもそう思う
 そう思う
 あまり思わない
 思わない

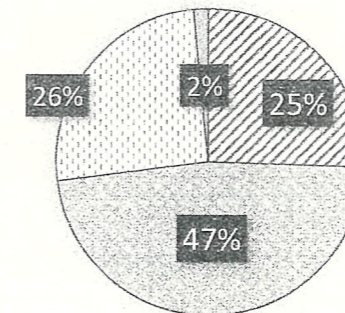
①学校は、タブレットなどICT機器の活用、教科分担制の導入などの指導の在り方を工夫し、児童の学習の充実を図っている。



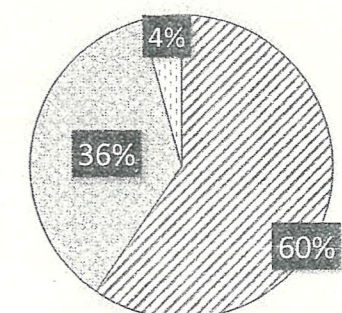
②学校は、道徳の授業や異学年（たてわり活動など）の交流を通して、自分も相手も大切にすることを育てることに力を入れている。



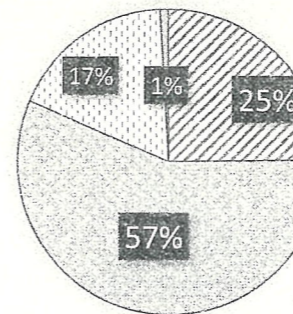
③お子さんは、進んであいさつをしようとしている。



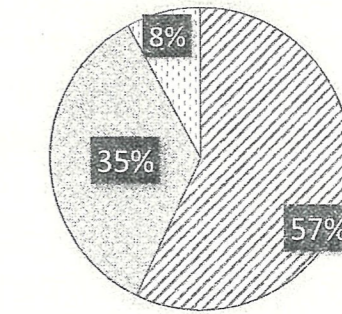
④学校は、保護者、地域（阿久和川美化活動など）との協力や小中ブロックとの連携（子ども会議、小中交流、幼保小交流、あいさつ運動など）を図っている。



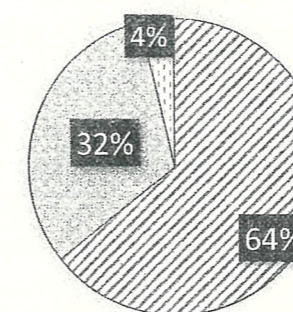
⑤お子さんは、学校保健委員会など学校での取り組み（手洗いの励行、食育指導、体力づくり等）を通して、健康や体力づくりについての意識を高めている。



⑥お子さんは、学校で決められているルール（上矢部みんなのやくそく）を守ろうとしている。



⑦学校は、避難訓練や安全指導、登下校の交通安全について適切な指導をしている。また、保護者は交通安全について日頃から声をかけ伝えている。



⑧学校は家庭や地域へ学校だよりや学校ホームページ、メール等で情報を発信している。また、保護者は、その情報をしっかりと受け取り、お子さんのために生かしている。

